



Q:お布施は支払うものですか? A:いいえ、支払うものでなく、施すものです。

「お布施を支払う」と、いつもの感覚でつい言うっかり言ってしまうようになりますね。私も時々耳にすることがあります。でも、お布施は支払うものではありません。布施という字は、布と施とあるように広く施すという意味です。物資を施すことを財施、仏の教えを説き与えることを法施と言い、様々な恐怖から免れさせることを無畏施と言います。なぜ皆さんがお寺の住職にお布施しているかという、それは読経の対価でなく、仏の教えを説き与えて衆生を救う法施を成り立たせるためなのです。つまりお布施することによって、生きとし生けるものが救われる事につながるわけです。仏の教えが説かれる事で、生きとし生ける者たちが様々な恐怖から免れるように協力するのがお布施の本来の意味なのです。ですからお布施を託されたお坊さんは、それだけ大きな責任があり、より一層精進しなければならないのです。坊主丸儲けどころか「身を粉にしても報すべし、骨を砕きても謝すべし」です。

寺ともさんごぼれ話 今月も寺ともかわら版に寄せられた多くの声の中からいくつかをご紹介します。

先月の「生チョコ大福」に初めてご参加下さった方からお電話を頂きました。その方は、面白い催しがあるのは知っていてもなかなか参加するキッカケがつかめないままでしたが、ついに一步を踏み出されてのご参加でした。初めてでも楽しめたということだったので、本当に何よりでした。またお出かけ下さいね。前回の「お参りコラム・お坊さんの処方箋」に宛てて「結婚する息子夫婦のことが仏さまの神通力の話に展開されていて驚きました」とお母さんから喜びのコメントを頂きました。どうぞみなさんお幸せになって下さいね。最後は、今月の「いきいき終活セミナー」に対して「『終わり良ければ、すべてよし』ですね。ご本人と介護する方の両方が良い終末でありたいです」というコメントを頂きました。自分だけでなく、そして後に残される者だけでもなく、両方が満足するという、自利利他円満の仏教の願いが終活には託されていると思いました。誠に有難うございました。

名前：アリス
性別：♀
お年：3か月
種類：ネザーランドドワーフ
好物：キャベツ・餌用の草
苦手：葛西さんちの飼い犬
住所：葛西さん宅(高松市)
性格：おっとりおとなしい

ご自慢のペットちゃん



ットちゃんを募集しています

エピソード：動物のいない生活は考えられないとおっしゃるほど動物好きな奥様が、かわいくて仕方ないからと言って飼い始めたアリスちゃんです。世界一小さなウサギだそうで、体重はおよそ1キロぐらいです。ペットショップで売られている雑種のミニウサギではなく、価値の高い純血種なんだとか。お水がないと、お水の入れ物を転がしてせがんだり、エサがないと、パタン・パタン暴れたりする食いしん坊さんに、奥様はメロメロです。

5月12日(土) 読売新聞香川版 「生チョコ大福」掲載



5/12(土) 地域34面

寺ともサービスデー「生チョコ大福を作ろう」の折に、読売新聞の記者さんが来られて、取材して頂いたものが5/12(土)の香川版で記事になり掲載されました。この記者さんは、4月に入社したばかりの新人で、とっても丁寧に取材して下さい、素晴らしい内容でした。

おまけ

「人間である限り 相続は無縁ではないはけい。必ず相続が発生します。」と 和田先生。
今日の終活セミナーは正に「転ばぬ先の杖」を学ぶいい機会になりました。ありがとうございました。
@:かわら版不要の方は恐れ入りますが 087-821-6348へご連絡を。